

一般質問

天日 公子

(民主クラブ)

本市の節電対策は

問 本道の節電目標が2010年比7パーセントと設定された。この問題は期間的なものではないと思うが、対策は。

答 家庭での節電メニューについては特に夕方以降18時から20時の時間帯での協力要請があり照明の節電が重要。行政、市内企業には各業種別に節電メニューが示され取り組んでいく。また、対策の情報は広報、ホームページ、報道機関などを通じ企業・一般家庭への周知徹底を図る。

通報システムで安否確認は

問 緊急通報システムは平成7年45万台から始まり、平成16年には300万台をピークとして平成24年5月末では199万台。

平成22年度から、利用対象者の拡大をしているにもかかわらず、平成23年度の設置目標280万台、平成24年度の目標250万台から

みると現在の緊急通報システムの利用者が199世帯は、どうも少ないと思うが、使いにくい理由があるのか。計画と実態の開きを行政はどのように受け止めているのか。



緊急通報システム装置

答 減少の主な理由は死亡、施設入所、転出、家族との同居によるものとなっており、設置より廃止のほうが多い状況にある。

問 児童・民生委員の労力を軽減するために安否確認ができる通報システムにできないか。

答 事業者からの安否確認はできるが、委託事業であり中身を検討、対象者・経費を含めて今後の課題である。

◆その他の質問

・成年後見制度について

広瀬 寛人

(ふらの未来の会)

観光施策・サイン計画の策定は

問 現状認識と問題点の把握は。

答 これまで設置されている観光案内板は表記が不統一なもの、分かりにくいもの、老朽化しているものがあり、また乱立により景観が損なわれている現状もある。

問 策定手法は。

答 多言語案内表示ガイドラインを土台に関連する国・道など道路管理者や景観法、北海道屋外広告物条例などを所管する関係機関と連携して「効果的な誘導」を視점에策定を進めたい。

通学路に対する現状認識を伺う

問 富良野小学校周辺の規制と今後の対応は。

答 国道を除き学校を取り囲む道路は休日、日曜を除く朝7時30分から9時までの間、車両進

入禁止の規制。学校周辺を通行される市民に対し交通規制の遵守は勿論、児童生徒の安全を考慮して交通ルールを守るよう関係機関に周知を行う。

問 緑町児童センター建設との連携は。

答 扇山小学校児童並びに児童センターに来館する児童の安全確保を第一に、登下校時における児童の動線と送迎を行う保護者の自動車による動線、教職員の自動車での通勤による動線、さらに児童館に来館する児童の自転車の動線が出来る限り重複しないように児童の通用門と車両の出入り口を分ける方向で学校、PTA、子ども未来課と協議を行いたい。



富良野小学校周辺交通標識